

24.放射線科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 指導責任者：久保聡一（放射線科 部長）

2. 期間：8～12週間(原則)、(2年目選択)

3. 目標

【一般目標 GIO】

熟練した **General Radiologist** の検査、診断技術、知識に接し、これらを出来る限り修得することが目標である。また、放射線防護に関する基礎知識を学び、患者・医療者の被曝低減を心がけることを身につける。

【個別目標 SBO's】

CT・MRI：

- ① 造影剤の注射が安全かつ適切にできる。
- ② **common diseases** については所見を拾い上げ、診断できる。
- ③ ある疾患、病態の評価に際し、**CT** と **MRI** のどちらを選択すべきかを判断できる。

超音波：

- ① 実際にプローベをあて、腹部各臓器を描出できる。
- ② 胆石、肝臓と腎臓の **SOL** を描出できる。
- ③ イレウス、腸重責の所見を読み取り、診断できる。

核医学：

- ① 薬剤の注射が安全かつ適切にできる。
- ② 核医学検査の適応を判断できる。
- ③ 適切な核種を選択できる。

Interventional Radiology(IVR)

- ① 術者の助手ができる。
- ② 大腿動脈の穿刺とシースの留置ができる。
- ③ 圧迫止血ができる。

4. 方略 LS

LS1(OJT)

- 1) 放射線部にて指導医に付き、CT・MRI・超音波・各種造影検査に参加する。
- 2) 日々の症例画像と指導医の読影レポートとを照合、検討し理解に努める。不明な部分は自ら書物を参考にして理解に努め、適宜指導医の助言を得る。また、経験が不十分な症例については文献・症例集などで理解を深める。
- 3) IVR の助手を務め、得られた画像診断、治療戦略、実際の手技について指導医と Discussion する。その後、書物にて理解を深める。
- 4) 院内における他診療科とのカンファレンスに参加する。

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金	土
午前	CT、MRI 核医 学検査読影	超音波検査	CT、MRI 核医 学検査読影	IVR	CT、MRI 核医 学検査読影	超音波検査
午後	CT、MRI 核医 学検査読影	CT、MRI 核医 学検査読影	CT、MRI 核医 学検査読影	CT、MRI 核医 学検査読影	CT、MRI 核医 学検査読影	CT、MRI 核医 学検査読影

LS2(勉強会・カンファレンス)

- 1) 勉強会 毎週金曜日文獻抄読会 (午前8時15分～8時45分)
* 院外の勉強会については出来る限り参加。
- 2) カンファレンス
呼吸器科／放射線科合同カンファレンス
毎週火曜日午後1時30分～3時00分
毎週金曜日午後4時30分～5時30分
外科／消化器科／放射線科合同カンファレンス
毎週木曜日午後5時～

5. 評価 EV

- 1) 日常業務に取り組む態度、意欲、手技の達成度を適宜形式的に評価する。
- 2) ローテーションの終了時に、予め与えられた課題(1疾患)についてプレゼンテーションを行い、指導医の評価を受ける。
- 3) EPOC を用いて評価の記録を行う。

6. その他

放射線科のローテーションは必須科をある程度ローテートした初期研修後半に行うことが望ましい。希望者には十分なモチベーションを期待する。